



ムシキャパはこんなところで静かにひっそりと活躍しています。

- レストラン
- カフェ
- ヘアサロン
- ベーカリー
- 厨房
- ホテル
- ペットショップ
- 幼稚園／保育園
- 病院／クリニック

ムシキャパが捕獲する羽虫たち



- ノミバエ
- クロバネキノコバエ
- ヌカカ
- ハヤトビバエ
- タマバエ
- イエバエ etc...



プロダクトデザイナー 安積 朋子 Tomoko Azumi

京都市立芸術大学デザイン科環境デザイン学科にて建築を学び、設計事務所に勤務のち渡英、1995年にRoyal College of Art 家具科を卒業。デザインユニットAZUMIでの活動を経て2005年にTNA Design Studioを設立、現在に至る。

【Muscicapa(ムシキャパ)】

スズメ目ヒタキ科の鳥の学名。飛んでいる昆虫を見つけると枝から狙いを定めて飛び立ち、空中でホバリングしてくちばしで虫を捕らえ瞬時にもとの枝に戻る。英名「フライキャッチャー」と呼ばれる。この器具のテーマ「キュートなフライキャッチャー(捕虫器)」のシンボル。

品名	LED捕虫器 Muscicapa(ムシキャパ)
型番	MSC-002
電源	100V 50/60Hz
消費電力	3.2W
適合ランプ	LDT3BL
ランプ寿命	20,000時間
寸法	幅189×奥行189×高266mm
重量	1.0kg
付属品	捕虫紙S-7 2個



MUSCICAPA

ムシキャパ
[LED捕虫器 / MSC-002]



『LEDランプ』を採用



消費電力
省エネ 約1/4
従来品: MSC-001 (13W) と
新商品: MSC-002 (3.2W) を比較した場合

長持ち
長寿命 約5倍
従来品: MSC-001 (4000時間) と
新商品: MSC-002 (20000時間) を比較した場合

ランプ交換の手間が省け、廃棄物も減ります。

安全に関するご注意

- ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- 表示している正しい電源・電圧でお使いください。
- 誘虫灯から発生する紫外線は人体に無害なレベルですが、紫外線に過敏な体質の方が長時間近づいた場合、不調をきたすことがございます。設置場所にご注意ください。

●捕虫器には寿命があります。

- JIS(日本工業規格)によると、目安として、設置から3.8年*経過した捕虫器は、器具内部の安定器・ソケット・電線・電源コードなどの劣化が進んでいる場合があります。捕虫器のリニューアルをおすすめします。*24時間/日、年間8,000時間点灯の場合
- 電気用品安全法の技術基準では絶縁物の限界は40,000時間とされていますが、実際には30,000時間から磨耗故障期に入ります。
- 電源電圧が定格±6%の範囲外の場合、周囲温度が35℃を超える場合などには寿命が短くなります。
- 1年に1回は自主点検、3年に1回は電気工事店等の専門業者による点検を受けてください。点検されずに長時間使用を続けると、発煙・発火・感電などの異常発生危険性があります。

技術と安心の捕虫器専門メーカー

ベンハーはかり株式会社

〒501-6121 岐阜県岐阜市柳津町上佐波西1-168
TEL.058-279-1181 / FAX.058-279-1183

<https://www.benhar.co.jp/>

*製品仕様は事前の予告なく変更する場合がございます。



大栄株式会社

お使いになる前に

- ⚠️ **ムシキャパは屋内専用機器です。**
- ⚠️ **直接光が外に漏れない場所に設置してください。**
直接光が外に漏れると、外にいる虫を誘引してしまいます。
- ⚠️ **一般の蛍光灯器具と同じです。**
水漏れや結露するような場所では使用できません。

捕虫紙について

リフレクト用捕虫紙は有害物質を使用しておらず、虫を捕獲するのに最適な樹脂配合で製造されています。強力な粘着捕虫力で、足が一本触れただけの虫でも決して逃しません。剥離紙タイプの一般的な虫捕り紙に比べて

約2倍の捕獲力です。

※製造会社比
日本環境衛生センター調べ



- **特徴1. 切れにくい**
リフレクト用捕虫紙は、紙の引っ張り強度を大幅に強化しており、非常に切れにくくなっています。
- **特徴2. 高性能**
特殊な粘着樹脂を使用し、適度に柔らかく分厚いため、虫の羽根や足が少し触れただけでも絡め取ることができます。
- **特徴3. 長寿命**
紫外線への耐性が高く、硬化しにくくなっています。また粘着樹脂の流動性が高いため、粉塵などが付着しても粘着面が乾きません。

メンテナンスについて

捕虫紙の交換

<交換頻度>

- ・春～秋…**1ヶ月毎に交換**
- ・冬…捕獲状況に応じて交換

※虫の一時的な大発生があった場合には、その都度交換してください(春先の羽アリや降雨後など)。

蛍光ランプの交換

ムシキャパはLEDランプを採用しています。**寿命は20,000時間(約2年半※)**と長持ちです。ランプ交換の手間が省け、廃棄物も減ります。環境にもやさしい設計です。

※24時間/日、8,000時間/年で使用した場合



ムシキャパを効果的にお使い頂くために

①虫の侵入経路や発生場所に設置する

出入口や窓のそば、また水周りやゴミの近くなど、虫が侵入・発生しやすい場所に設置します。虫が部屋の中を飛び回る前にすばやく捕らえるためです。

②ムシキャパの光(直接光)が外に漏れないようにする

光(直接光)が外に漏れると、外にいる余計な虫まで誘引してしまうことになります。ランプの青い光が直接外から見えないように設置してください。

③なるべく低い位置に設置する

小さな虫の多くは2m以上高くは飛びません。低い位置に設置していただくと虫もよく捕れ、かつ捕虫紙の交換もしやすくなります。

④夜間も点灯させる

一般的に、虫は日没後と夜明けに活動が活発になると言われています。夜間に他の照明を消灯させて、ムシキャパだけを稼働させていると一層効果が上がります。

⑤捕虫紙は定期的に交換する(月に1回)

「虫が減った」「増えた」というのは、なかなか目で見て判るものではありません。定期的に交換された捕虫紙の捕獲状態は、それ自体がその場所の「虫レベル」を表し、現在の対策が充分であるかを判断する貴重なデータとなります。

⑥捕虫器用ランプの寿命は約20,000時間

ムシキャパはLEDランプを採用。従来品(MSC-001)に比べ消費電力は約1/4と省エネも実現しました。24時間使用で約2年半お使いいただける長寿命ランプです。

⑦冬場の捕虫紙の交換はゆっくり慎重に

寒い時期になると、捕虫紙の粘着剤は引張強度が強くなり、引き出しにくくなります。なるべく暖かい場所(室温)で保管していただくか、暖房等で温めてからゆっくり「まっすぐ」引き出して下さい。

捕虫紙は、適切に保管された状態であれば5年程度は劣化することなくご使用いただけます。また、人体に害のある薬品等は一切使用しておりません。

⑧捕虫器本体の耐用年数は約40,000時間

蛍光灯安定器の耐用年数は40,000時間(およそ4年半)で、30,000時間を過ぎたあたりから劣化が始まると言われています。

ムシキャパは24時間使用を推奨していますので、発火事故等の防止のためにも、5年をめどに交換をお勧めしています。



<こんな場所で使われています>

- 受付カウンター
- 控室の一角
- 化粧室
- 会食場 など